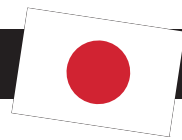




2019年 全米代表日本ツアー



6/6
(木)

日米交歓ディベート 公開ディベート&講演会

全米代表 VS 本学代表



2015年

日本ディベート協会 (Japan Debate Association) 主催による<2019年日米交歓ディベート全米代表日本ツアー>が本学で開催されます。このプログラムは、日本におけるディベートの普及と、草の根レベルでの国際交流を二つの柱として行われているものです。ディベートの本場アメリカより、ディベートコーチと2名の全米代表ディベーターをお招きし、本学の代表チームとの公開ディベートを行います。また、第二部では、ディベートコーチによる講演会もあります。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。



2017年

タイムスケジュール

13:10-14:10

(第一部) 公開ディベート

論題: Resolved: That the Japanese government should limit the weekly maximum average working hours, including overtime, to 48 hours.
全米代表ディベーター VS 本学代表

14:10-14:40 Dr. Beerman による
講評と質疑応答

休憩

14:50-15:50

(第二部) Dr. Beerman による講演会
<第57回 GCI キャンパス・レクチャー・シリーズ>

講演題目: Gender and Communication
(ジェンダーとコミュニケーション)

15:50-16:20 質疑応答

日時: 2019年6月6日(木)
13:10 ~ 16:20 (3・4限)

会場: 神田外語大学ミレニアムホール

司会: 田島慎朗先生
(本学国際コミュニケーション学科 准教授)

※ 事前申し込み不要

ディベート
コーチ紹介

ランドルフ・メイコン大学
(バージニア州)

Dr. Ruth J. Beerman

Assistant Professor of Communication Studies
and Coach of the University's Debate Team



Colten White
(ネブラスカ州立大学リンカーン校 卒)

全米代表
ディベーター



Caroline Kouneski
(ランドルフ・メイコン大学 卒)

主催:  神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所

企画運営: 日本ディベート協会

特別協賛: GTEC (Global Test of English Communication)

協力: 米国コミュニケーション学会 国際ディスカッション・ディベート委員会
全国高校英語ディベート連盟